

女性史・ジェンダーで読む 明治150年

明治維新から起算して150年の今年、政府は明治を女性が輝く時代の幕開けとして顕彰しようとしています。しかし、明治は女性が輝く時代だったのでしょうか？ はたして、近代化のなかで女性たちは幸せになったのでしょうか？ 帝国憲法、明治民法、戦前の男女別学教育などをジェンダー視点で読み解くことによって、近代が女性に（男性にも:）もたらした「光と陰」を浮き彫りにします。

2018年5月に成立した「政治分野における男女共同参画推進法」（候補者男女平等法）や、近年活発になっている選択的夫婦別姓を求める動きなどの歴史と意義も含めて、今の私たちにつながるお話を、静岡県の近現代史にも詳しい平井和子さんに語っていただきます。

とき

2018年7月27日(金)

14:00~16:30

参加費無料：直接会場へお越しください。

ところ

フィランセ

西館3階団体交流室

富士市本市場432番地の1

電話：0545-64-9023

第1部 講師：平井和子さん



プロフィール・

一橋大学大学院社会学研究科特別研究委員

専門：近現代女性史、ジェンダー史

著書：『日本占領とジェンダー～米軍・売買春と日本女性たち』有志舎、『戦争と性暴力の比較史に向けて』（共編著）岩波書店(2018)



フィランセ JR富士駅より徒歩20分
JR富士駅よりバス停(富士市フィランセ)下車
またはバス停「県総合庁舎」下車徒歩3分

第2部 交流のつどい

お問い合わせ：野村 TEL0545-52-2391 大塚 TEL・FAX 054-270-8062

主催：静岡女性史研究会 きらり交流会議・ふじの女性史聞き書きの会

共催：みしま女性史サークル